1．科目名（単位数）	国際社会理解研究Ⅰ　（2 単位）	3．科目番号	EIIE4101
2．授業担当教員	松浦　康世		
4．授業形態	講義、議論、発表	5．開講学期	秋期
6．履修条件・他科目との関係	国際教育コース４年次必修科目		
7．講義概要	本授業では、2 年次に履修した「国際社会理解入門」で紹介された「国境を越えた社会現象」の中で生きる人達の事例を、教育の立場から、教育は誰に対し何を目的に行われるのかをテーマに、理解を深めていきます。グローバル化が進み、社会や人間関係が複雑化する今、「他者を理解する」姿勢はこれまでになく重要となってきています。このように「他者を理解する」立場から、どのような問題が浮上し、どのような解決策があるのかを、読み解く作業を行います。このため、この講義では、国際社会問題についてよりよく理解するため、社会調査法を用いて探求する知識とスキルを身に着けることをも目的としています。		
8．学習目標	1.「国境を越えた社会現象」とは何か説明ができる。 ２．国際社会問題と教育の在り方について、意見を述べることができる。 ３．社会調査について簡単に説明ができる。 ４．教育の分野で用いられる調査法について慣れ親しむ。		
9．アサイメント（宿題）及びレポート課題	１．研究テーマに関連する研究論文の要約と意見文（5点×6回） ２．研究計画書（研究テーマ、研究目的、調査方法、参考資料等）（10点） ３．発表用PPT（10点）、口頭発表（10点） ４．レポート（20点）		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】随時、授業内容に即したプリントを配布する。 【参考書】山脇啓造『新多文化共生の学校づくり―横浜市の挑戦』明石書店、2019 平高史也『多言語主義社会に向けて』くろしお出版、2017 原沢伊都夫『異文化理解入門』研究社、2013		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 以下の点が達成されたかを基準とし、評価される。 １.「国境を越えた社会現象」とは何か説明ができるようになったか。 ２．国際社会問題と教育の在り方について、意見を述べることができるようになったか。 ３．社会調査について簡単に説明ができるようになったか。 ４．教育の分野で用いられる調査法について理解が深められたか。 ○評定方法 以下の点を総合して評価する １　授業への参加意欲・態度　総合点の 20% ２　提出課題（レポート等）　総合点の 50% ３　発表（口頭発表・期末発表）　総合点の 30% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生へのメッセージ	人の移動や国際化により社会がどのように変化したのかを実生活の中で観察し、多文化共生社会の実現において中核となる日本語教育や学校教育の学習支援に関する施策を調査する。観察される社会現象を身近な問題として捉え、興味を持って研究に臨んでほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		

14. 授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第１回	オリエンテーション（学習の進め方、課題、評価方法）	事前学習	シラバスでコースの概要を理解する。
		事後学習	学習や課題の計画を立てる。
第２回	国境を超えた社会現象とは何か（身の回りの変化を考える）	事前学習	提示された研究論文を読み、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第３回	国際社会の課題とは何か（海外および国内における諸問題を考える）	事前学習	提示された研究論文を読み、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第４回	多文化共生社会の形態（海外の事例、国内の施策）	事前学習	提示された研究論文を読み、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第５回	世界における言語政策（地域別の言語政策の歴史と現状）	事前学習	提示された研究論文を読み、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第６回	日本の言語政策の歴史（海外と国内における日本語教育）	事前学習	提示された研究論文を読み、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第７回	外国人児童生徒に対する学習支援（行政やボランティアの取組事例）	事前学習	提示された研究論文を読み、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第８回	課題提示（調査方法の種類と研究倫理）	事前学習	これまで読んだ論文の書き方を参考にする。
		事後学習	これまで読んだ論文の調査方法を分類する。
第９回	研究計画書の書き方（研究の目的、方法、参考資料など）	事前学習	期末発表のための研究テーマを考える。
		事後学習	研究計画書を完成させる。
第１０回	テーマ発表（問題提起、ディスカッション）	事前学習	クラスでテーマを発表できるよう準備する。
		事後学習	クラスの意見を参考に計画書を練り直す。
第１１回	発表用資料の作り方（ＰＰＴ／レジュメ）	事前学習	発表用資料の形態を考える。
		事後学習	ＰＰＴファイルの作成を開始する。

第１２回	レポートの書き方 （項目、文体、表現など）	事前学習	ＰＰＴファイルの内容を吟味する。
		事後学習	レポート作成を開始する。
第１３回	口頭発表の最終確認と口頭発表（グループ１） （一人ずつ発表、意見交換）	事前学習	ＰＰＴファイルを完成させる。
		事後学習	クラスから出された意見を整理する。
第１４回	口頭発表（グループ２）と自己評価表の提出 （一人ずつ発表、意見交換）	事前学習	ＰＰＴファイルを確認し、発表に備える。
		事後学習	クラスから出された意見を整理する。
第１５回	ふりかえり （口頭発表についての講評、アンケート）	事前学習	期末レポートを完成させる。
		事後学習	期末レポートを提出する。